

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2002-514959(P2002-514959A)

【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)

【出願番号】特願 平 11-503602

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 M 5/315

【F I】

A 6 1 M 5/315

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 10 日 (2005.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17年 6月 10日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平11-503602号

2. 補正をする者

名 称 ノボ ノルディスク アクティーゼルスカプ

3. 代理人

住所 〒100-0013

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号

鈴榮特許総合事務所内

電話03(3502)3181(大代表)

氏名 (5847) 弁理士 鈴 江 武 彦



4. 自発補正

5. 補正対象書類名

明細書

6. 補正対象項目名

明細書

7. 補正の内容

1. 明細書中、第3頁、23行目ないし第4頁、2行目、「これは、……移動する。」を、「これは、請求項に規定されたようなシステムによって得られる。」と訂正する。

2. 同、第4頁、26行目、「服用量設定車輪」を「服用量設定ドラム」と訂正する。

3. 同、第4頁、27行目、「2つの部分」を「第2の部分」と訂正する。

4. 同、第4頁、29行目、「相互に」を「第1の部分に」と訂正する。

5. 同、第7頁、3行目、「ボタン10」を「注入ボタン10」と訂正する。

6. 同、第7頁、13行目、「6との距離はDとして明示してある。」を



「ライン15と16との距離はDとして明示してある。」と訂正する。

7. 同、第7頁、14行目、「前回ボタン10」を「注入ボタン10」と訂正する。

8. 同、第7頁、23行目、「ドラム21」を「ドラム20」と訂正する。

9. 同、第7頁、26行目ないし第8頁、7行目、「この回転は、……設けられている。」を、「この回転は、服用量設定ドラム20の回転に対応する距離だけナット部材8の外方にねじられたスピンドルに伝えられる。大きすぎる服用量は、反対方向へのドラム20の回転によって減少される。

服用量設定ドラム20の回転は、電子的に感知され表示装置へ伝達されるが、表示装置の画面の寸法は服用量設定ドラム20の物理的寸法とは独立していて、電子的設定および表示によって得られる全ての他の利点を得られる。

図2は、服用量が注入された後で現れるように、本拠地からハウジングとの当接位置に押圧された注入ボタン10を持った装置を示している。図示しないロック手段が、たとえば、服用量設定ドラム20が操作された場合、注入ボタン10をそれが再度開放されるまでその位置に保持するために設けられている。」と訂正する。

10. 同、第8頁、16行目ないし20行目、「面17と…設定される。」を「面17と尖端部18とは、もし可能であればスピンドルがその周りに回転できる枢軸を形成する。アンプル引出し装置が開成されると、ディスク22が最初に服用量設定ドラム20の基部21から引出され、このようにして服用量設定ドラム20は回転に対して自由に設定される。」と訂正する。

11. 同、第9頁、12行目、「服用量スピンドル34」を「服用量設定ドラム20」と訂正する。

12. 同、第10頁、4行目ないし同頁、5行目、「服用量スピンドル24」を「服用量設定ドラム20」と訂正する。

13. 同、第11頁、2行目、「服用量スピンドル」を「服用量設定ドラム」と訂正する。

14. 同、第11頁、15行目、「ピストンロッド25」を「スピンドル25」と訂正する。